

令和元年度神経・筋難病看護研修実施要領（臨床看護職対象）

1. 目的

- (1) 京都府内の難病医療協力病院、重症難病患者一時入院事業契約病院、特定医療費（指定難病）指定医療機関に勤務する臨床看護師等に対して、看護研修の場を広く提供し、神経・筋難病への専門的な知識を深めると共に難病看護の質的向上を図る。
- (2) 関連機関との情報交換を通して難病医療ネットワークの強化を図る。

2. 主催

京都府、独立行政法人国立病院機構宇多野病院

3. 対象

- (1) 独立行政法人国立病院機構の神経・筋難病専門医療機関に勤務する看護職等
- (2) 京都府内の難病医療協力病院、重症難病患者一時入院事業契約病院の神経・筋難病病棟又は地域連携室等に勤務する看護職等

4. 期間

令和元年10月21日（月）、23日（水）から25日（金）の4日間
※研修内容は4日間を通して連動したプログラムとなっており、原則、研修の全日程を受講いただきます。

5. 場所

独立行政法人国立病院機構宇多野病院 中央会議室
（京都市右京区鳴滝音戸山町8）

6. 内容

別添プログラム参照

7. 申込期間

令和元年7月8日（月）から7月18日（木）まで（必着）

8. 申込方法

申込書（別紙1）及び受講者調書（別紙2）を作成の上、「13提出先」までメール又は郵送にて送付願います。※1人のみの参加でも必ず両方作成願います。

提出する様式については、宇多野病院ホームページからもダウンロード可能です。

<http://utanohosp.jp/>（医療関係者の方へ／神経・筋難病看護研修）

9. 受講決定

令和元年8月6日(火)までに施設あてに文書で通知します。

10. 必要物品・服装等

- ・筆記用具
- ・開講式・閉講式がありますので、服装にご留意ください。
- ・「神経・筋難病患者のリハビリテーション 社会資源の活用」の講義は、一部実技も行いますので、着替える必要がない動きやすい服装でご参加ください。
- ・最終日に施設見学を行います。ヒールのある靴は避け、音のしない靴をご準備ください。髪が長い方は、束ねていただきますようお願いいたします。
- ・受講決定後、研修参加費(資料代含む)として、5,000円を宇多野病院が実費徴収します。振込後の返金及び欠席による返金は致しません。
なお、「神経・筋看護マニュアル」希望の方は、実習当日に3,000円にて販売致します。購入時に釣銭がないようご協力の程お願い致します。
- ・昼食はなるべくご持参ください。
※宇多野病院内にも売店があり、通常より多く用意しますが、患者・職員等の利用時間と重なり混雑が予測されます。なお食堂は休業中です。
- ・宿泊先は各自で予約してください。受講者用の駐車場は準備しておりませんので、ご了承ください。

11. 修了証書

4日間全ての研修修了者には、修了証書を発行いたします。

12. その他

本研修は、宇多野病院が政策医療(神経・筋難病)の基幹病院として、全国の国立病院機構を対象に実施する研修と同時実施となります。

研修企画及び通知・広報については、府及び宇多野病院で実施しており、その他研修運営については、宇多野病院に委託実施しております。

13. 提出先・問い合わせ先

〈提出先・手続きに関する問い合わせ〉

〒616-8255 京都市右京区鳴滝音戸山町8

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 庶務班長 柴田 忠幸

TEL: 075-461-5125 (内線 7501) / Mail: shibata.tadayuki.hm@mail.hosp.go.jp

〈研修内容に関する問い合わせ先〉

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 看護師長 近藤 昭子

TEL: 075-461-5125 (内線 7913) / Mail: kondo.akiko.rh@mail.hosp.go.jp

令和元年度 第21回神経・筋難病看護研修プログラム(臨床看護職)

| | 1日目 10/21(月) | 祝日 10/22(火) | 2日目 10/23(水) | 3日目 10/24(木) | 4日目 10/25(金) | |
|-------|--|---|--|---|--|--------|
| 9:00 | 開場・受付・資料配布 オリエンテーション | | (9:00~10:00) 多発性硬化症 リハビリテーション科 医長 田原 将行 | (9:00~9:40) 宇多野病院における 在宅支援の 取り組みと現状 退院調整看護師 副看護師長 橋度 美紀子 | (9:00~10:00) 進行性 筋ジストロフィー症 小児科医長 白石 一浩 | |
| | (9:15~9:30) 開講式 | | | | | |
| 10:00 | (9:30~11:00) 神経難病看護総論 (パーキンソン病・ パーキンソン病関連 疾患・多系統萎縮症等 多発性硬化症 筋萎縮性側索硬化症) 副看護師長 野村 浩子 佐竹 美穂 市川 ルミ | | 休憩 10分 | 休憩 10分 | 休憩 10分 | 休憩 10分 |
| | 休憩 10分 | | (10:10~12:00) 摂食・嚥下障害が ある患者の支援 摂食・嚥下障害認定看 護師 中嶋 渚 | (9:50~11:20) 難病に関する 行政施策 京都府健康福祉部 健康対策課 横谷 健太 | (10:10~12:00) リハビリ見学 病棟見学 | |
| 11:00 | (11:10~12:00) 患者講演 | | 主任言語聴覚士 飯高 玄 | (11:30~12:00) 保健所における 難病支援 ~京都府保健所の 取り組み~ 山城北保健所 植垣 紀子 | | |
| | 休憩 10分 | | (12:00~13:00) 昼 食 | (12:00~13:00) 昼 食 | (12:00~13:00) 昼 食 | |
| 12:00 | (12:00~13:00) 昼 食 | | | | | |
| 13:00 | (13:00~15:00) 難病疾患の理解の ための基礎知識 (パーキンソン病・ パーキンソン病関連 疾患・多系統萎縮症 等) | | (13:00~16:00) 《特別講演》 医療施設と 在宅の連携 在宅ケア 移行支援研究所 宇都宮 宏子 | (13:00~14:30) 神経・筋難病患者の リハビリテーション 社会資源の活用 住まいと介護研究所 所長 谷口 昌宏 | (13:00~13:45) 難病患者の リハビリテーション 日巻 安希子 | |
| 14:00 | 臨床研究部長 大江田 知子 | | 休憩 10分 | 休憩 10分 | 休憩 15分 | |
| 15:00 | 休憩 10分 | | (14:40~17:00) | (14:40~17:00) | (14:00~14:50) 【グループワーク】 今取り組んでいる現状 について 討議内容発表 全体での討議 | |
| | (15:10~16:10) 筋萎縮性側索硬化症 神経内科医長 梅村 敦史 | 休憩 10分 | 休憩 10分 | 休憩 10分 | | |
| 16:00 | | 休憩 10分 | 住まいと介護研究所 所長 谷口 昌宏 | (15:00~15:30) 閉講式 (修了証書授与) | | |
| | | (16:10~17:00) 難病患者の リスクマネジメント 医療安全管理係長 | | | | |
| 17:00 | | | | | | |